ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。 題字:栢木寛照

えとす
令和元年 6月号
No.314

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

令和初の参議院通常選挙
自民、安倍首相の外交経済成果を強調

与党現有議席を堅持出来るか

第198通常国会も終わった。今国会は、地方統一選挙が期間中に執行され、大きな与野党対決の政治課題もなく、比較的穏やかな国会であった。一時は衆参同時選挙が取りざたされたが、それもなくなり、いよいよ参議院選挙に突入である。自民党は選挙区に49名、比例区に33名を公認した。野党は大多数の一人区に統一候補を擁立、自公候補と激しい戦いをすることになる。自民党は6月中旬の安倍首相のイラン訪問、下旬のG20での大きな外交成果を強調すると共に、我国の外交安全保障の強化、経済の活性化、地方創生、人生100年時代の社会保障の充実、教育の支援などの政策を訴える。野党はこれと言った目新しい政策もなく、安倍内閣の批判にとどまっている。日本の政治を託すのは、自、公政権か、それとも野党か。賢明な国民は、的確な判断を下すであろう。

立憲民主党の枝野代表とやり合う安倍首相

自民党の新しい侍ポスター
従来にない斬新な発想

令和の時代がスタートしました。自民党では、これからの時代をリードする若い世代に向けて、様々な形でメッセージを発信して参りますが、このポスターは世界的クリエイター・天野喜孝氏が描き下ろしたもので、新しい時代に、新しい挑戦へと向き合う自由民主党の政治家の覚悟を、躍動感とともに表現しております。

京滋参議院議員が質問に立つ

3人各自の得意分野で持論展開

総務委員会に所属する二ノ湯智議員は、5月28日に、「電波法の改正法」の質問をした。一般の地方行政と違って、電波関係の質問はなかなか難しい。

〈質問要旨〉

来年3月頃から始まる東京オリパラの聖火リレーの模様を、インターネットを活用して、NHKテレビ番組が常時同時配信によってスマートフォンで見ることが可能となる。多くの国民が、オリンピックのムードが盛り上がることを期待する。

二ノ湯智委員(総務委員会)

決算委員会の筆頭理事を務める西田昌司議員は、4月4日に引き続いて、6月3日の準総括の委員会で再度、質問に立った。参議院有数の論客である西田議員、いつもながら歯切れの良い声で、日頃の自説を展開した。

〈質問要旨〉

財政出動をして、景気回復をする必要がある。景気が落ち込んでいる時に、消費税を上げることは、消費が落ち込み、一層景気を悪化させる。こういう景気状況を考える時、消費税を一時凍結するべきだと思う。

西田昌司委員(決算委員会)

6月10日の決算委員会は総括質疑で、安倍総理以下全閣僚が出席、NHKのテレビ中継もあり、議員としては、晴れの舞台である。二之湯武史議員(滋賀選挙区)は、今回改選期を迎えるため、関係者の配慮で、質問席に立った。京都、滋賀の議員が、同時期に質問に立つことは、非常に珍しいことである。

〈質問要旨〉

弱肉強食、強い者勝ちの新自由主義の論理を止め、従業員への給料のアップ、取引先、下請への単価の向上、また株主の配当、地域への様々な活動への寄附をする企業経営にして、多くの人が景気回復の実感を持てるようにする必要がある。

二之湯武史委員(決算委員会)

自民党の政策パンフレット

6つの重要政策を強調し国民に訴える

自民党は夏の参議院選に向けて公約作りを進めていたが、地方の声、党の各部会での意見を集約して、公約を取りまとめた。6項目の主な公約の柱は次のようになっている。

①力強い外交・防衛で、国益を守る
②強い経済で所得を増やす
③誰もが安心、活躍できる人生100年社会をつくる
④最先端をいく元気な地方をつくる
⑤災害から命・暮らしを守る
⑥憲法改正を目指す

恒心

★現在、夫65才、妻60才の無職夫婦が95才まで長生きするとしたら、今の年金では、毎月5万ほど不足するので、30年間で2千万の金が必要になると金融庁審議会が報告書をまとめた。それが、批判の対象になっている。野党は、100年安心年金の破綻であると、鬼の首を取ったように、安倍内閣を追及している★果たして日本の年金制度は破綻しているのだろうか。そうではない。年金の支給額は退職時の所得50%の所得代替率は維持出来ている。現役時代の半分の収入となる。ことさら、不安を煽り絶てることはいかがなものかと思う。★大多数の退職した年金受給者は、ある程度年金に見合った生活をしなければならないし、健康さえ許せば職に就いて、副収入を得る必要がある。それが現在の高齢者の生活スタイルである。しかし、思いがけない出費が必要な時もある。★従って無利子に近い銀行貯金ではなく、少し有利な投資をしたらというのが、報告書のおおよその中身である。ある人は、政府が責任を持って、生活できる年金額を保障するべきだと声高に主張する。その財源は、どうするのか。増税をして、社会保障に充てるのは反対。自衛隊の装備を縮小して社会保障の費用を捻出しろと迫る政党がある。では、日本の安全保障はどうするのか。★長寿化する日本社会、益々高齢者が増え続ける。持続可能な社会保障制度を維持するにはどうしたら良いのか。批判もいいが、やはりしっかりした対案を示す必要があるだろう。

全国幹事長会議
参議院選挙での必勝を確認

自民党都道府県支部連合会の幹事長会議が、6月17日、自民党本部で開かれた。

参議院選挙を間近に控え、安倍総裁をはじめ、党4役も出席、緊張した雰囲気であった。先ず冒頭、安倍総裁が「経済を成長させ、年金の財政基盤は確かなものとなっている。政治を前に進めていくには政治の安定が不可欠。まなじりを決して参院選に取組んでいく」と力強く挨拶した。続いて、二階幹事長が「選挙に勝たなくては何にもならない。いずれの選挙区においても大きな成果があげられるように期待する」と参加者に訴えた。加藤総務会長は「来週にはG20がある。先進国を見ても、これだけ政治基盤が安定している国はない。それぞれの地域の総力を結集し、国民の皆様の期待に応えていきたい。」と政治の安定がいかに重要かを強調した。橋本参議院議員会長は「亥年の統一選を勝ち抜き、盤石の態勢で参院選に臨んでいただき感謝申し上げる。厳しい選挙だからこそ、ピンチをチャンスに変えていきたい。」と参議院選挙での、地方議員の働きに期待を寄せた。甘利選対委員長は、「参院選の日程については、まだ決まっていないが、7月4日公示、7月21日の日程で、選挙の準備を進めて欲しい」と要望した。その後、質疑応答に入り、各都道府県から色々な発言があった。

主な意見は次の通りである。

○来年、東京オリパラが控えているので、党としてオリパラ支援を願いたい。オリパラの開催前に、都知事選挙が行われる可能性がある。都連としても参院選前に候補者の選定プログラムをスタートさせたい。（東京都連）

○イージスアショアを巡る対応について、県民は怒っている。防衛省は猛省するべきであり、東京から選挙のマイナスになるようなことは避けていただきたい。（秋田県連）

○県知事選を踏まえた意見書を党本部に提出している。これへの返答がないので、丁寧な対応をお願いしたい。（福岡県連）

○大阪府議会では、維新が過半数を占めており、勢いを強く感じる。府連としても維新の強さを警戒しており、党としての支援をお願いしたい。（大阪府連）

○東日本大震災の影響により、これから地方選挙が行われる。これらも含めて統一地方選だということで支援を願いたい。女性層の選挙への関心が低いと感じている。例えば児童虐待対策などで関心を喚起してはどうか。（宮城県連）

○参院選の日程を早く伝えて欲しい。（熊本県連）

府議会議長田中氏 副議長二之湯氏
正副ともに自民党が占める

統一選後の地方議会は、先ず議長を選出しなければならない。5月24日、初の京都府議会で、田中英夫氏(75・亀岡市)が第81代府議会議長に選出された。二之湯真士氏(40・右京区)は第72代副議長に選ばれた。議長、副議長とも自民党が独占することになった。

田中英夫氏

昭和19年生まれ。洛星高校、京大経済学部卒。亀岡青年会議所理事長、亀岡市助役、亀岡市長、衆議院議員を経て、平成3年に府会初当選。現在6期目。

二之湯真士氏

昭和54年生まれ。山城高校、早稲田大学文学部卒。二之湯智参議院議員秘書を経て、平成19年4月、京都府議会議員に初当選。現在4期目。

京都市会議長に山本氏

5月16日、京都市会が開催され、山本恵一氏(65・北区)を第84代議長に選出した。山本氏は昭和28年生まれ。紫野高校、関西学院大学卒。平成19年4月に初当選、現在4期目。地元で農業に従事するかたわら消防団、JAなどの地域活動に熱心に取り組んできた。温厚で、人柄もよく、市会各派の意見に十分耳を傾け、公平、公正な議会運営に努め、議会の権威を高めることに力を発揮してもらいたい。

議長選出後、就任挨拶する山本議長

都道府県議長会会長に田中氏
地方創生に手腕を期待

執行部側の全国知事会、全国市長会、全国町村会、議会側の全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会は、地方6団体と言い、地方の意見を政府に届ける重要な役割を担っている。政府も6団体の声を無視出来ない。田中英夫府議会議長は6月20日に開かれた全国都道府県議長会総会で、会長に選ばれた。京都府議会議長で、全国の会長を経験した議長は、第52代小牧誠一郎氏(中郡熊野郡)、第62代家元丈夫氏(福知山市)の2人だけである。田中氏は亀岡市助役・市長として、地方行政の経験もあり、また衆議院議員として国政も良く知っており、地方創生が大きな政治課題となっている現在、適任の会長である。会長の任期は、以前は1年間だけであったが、前任者から2年間となった。

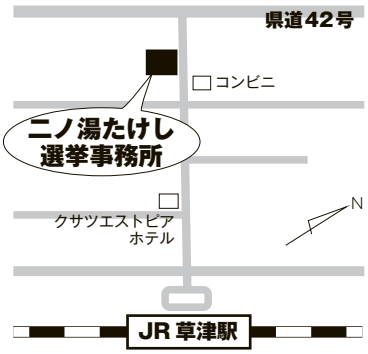
就任挨拶をする田中英夫会長

恒例の夏まつり 今年は開催せず
参院選と日程が重なる

毎年夏、京都グランヴィアホテルで開催していた「夏まつり」は、参議院選挙と日程が重なり、止むを得ず今年は中止と決定させていただきました。気楽にこども、孫を連れて参加することが出来ると、多くの人が心待ちにして下さいます。誠に残念ですが、ご了解をお願い致します。

二之湯武史 選挙事務所が開設
JR草津駅に近接

滋賀県選挙区の二之湯武史候補予定者の事務所開きが、約200人が参加して、6月8日に行われた。県庁所在地以外に選挙事務所を構えるのは珍しい。事務所はJR草津駅西口から、徒歩10分ほどの距離である。



場所・草津市野村2丁目10-21
(旧サラダ館)
TEL：077-574-8014
FAX：077-574-8017

身辺雑記

一、トランプ大統領の日本訪問は大成功だった。特に印象的だったのは、大相撲の観戦だった。NHKテレビの視聴率は26・3%になった。大統領も日本の伝統文化というべき大相撲を体験してさぞ満足したに違いない。

一、中央官庁で最高位まで務め上げた人が息子を刺し殺した。衝撃的な事件である。何不自由ない家庭で育ち、都内でも有数の進学校に進学した。その後、何が子供の人生を狂わせたのか。本当に子育ては難しい。

一、一方、元通産省工業技術院長が、運転する車で、母親と娘を死亡させた。87歳で運転するとは危険であり、無謀である。この人の過去の輝かしい栄光も吹っ飛んでしまった。それでもかけがいのない2人の命は返ってこない。

一、上皇ご夫妻が、先祖の墓に、退位の報告をする為に、京都に来られた。今回は、公式ではなく、私的な訪問ということであったが、京都駅、沿道でも多くの人が歓迎した。お2人の人気は依然として高い。

一、秋田県の自衛隊演習場にイージスアショアを配備するために、自衛隊が説明会を開き、住民に理解を求めた。その席上、自衛隊幹部の1人が居眠りをしてしまった。緊張感が足りないと、地元住民は怒り心頭、当然である。

一、ホルムズ海峡で日本船籍のタンカーが何者かに攻撃された。日本は中東の石油に大部分を頼っている。日本の船は安全だと思い込んでいたが、改めて国際情勢の厳しさを知った。日本の安全保障を真剣に考えなければならない。

一、大阪吹田の千里山交番所で、警官を包丁で刺し、拳銃を奪って逃亡した犯人が、逮捕された。世界の首脳が集まるG20を月末に控えての事件だけに、警察の面目に掛けて犯人を探し出さなければならなかった。早く解決出来て良かった。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会
年会費　1口1万円
入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228